



気をつけよう！感染症（令和8年第7号）

令和8年7月8日発行
松本市保健所保健予防課

ダニによる感染症（ダニ媒介感染症）に注意！！

○ダニ媒介感染症とは？

ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに刺されることによって起こる感染症のことです。

人が野外作業や農作業、レジャー等で、これらのダニの生息場所に立ち入ると、ダニに刺されることがあります。ダニがウイルスや細菌などを保有している場合、刺された人が病気を発症することがあります。

○主なダニ媒介感染症

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、ツツガムシ病、ライム病

○症状

咬まれたあと数日から数週間以内に以下のような症状が現れます。

発熱、頭痛、全身倦怠感、食欲不振、消化器症状（嘔吐・下痢等）

ダニに刺された時の対応

○無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（ダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。

○ダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が現れた場合は速やかに医療機関を受診しましょう。受診の際はダニに刺されたことを伝えてください。

[松本市ホームページ](https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/230/119099.html)



<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/230/119099.html>

[厚労省ホームページ](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku_nitsuite/bunya/0000164495.html)



https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku_nitsuite/bunya/0000164495.html

[JIHS ホームページ](https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/tick-borne-diseases/tick-prevention/index.htm)



<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/tick-borne-diseases/tick-prevention/index.htm>

予防のポイント

農作業やレジャーなどの活動をする場合は、マダニに咬まれないよう注意しましょう。

○肌の露出を少なくする

- ・長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用
- ・帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く
- ・シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- ・足を完全に覆う靴を履く



○明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすい）

○虫除け剤を使用する（医薬品の表示があるものがおすすめ）

*上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう

*屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう

ペットのダニ対策

ペットを介して、庭や屋内にダニが持ち込まれることがあります。

また、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

に感染し、発症している動物（ペットの犬・猫等を含む）の体液に接触することで感染することもあります。



○ダニ駆除剤の使用等について獣医師に相談

○ペットが外から帰宅したらダニがついていないか確認

○ダニが皮膚に食い込んでいる場合は動物病院へ

松本市感染症情報

2026年第27週(06月29日～07月05日)

※速報値

今週の発生状況

○全数把握感染症

今週は結核と腸管出血性大腸菌感染症の報告がそれぞれ1件ずつありました。

○定点把握感染症

手足口病が増加しています。日頃からタオルの共有は避け、流水や石けんによる手洗いをしましょう。

特に、保育施設等の集団生活においては感染を広げないため、おむつを交換した後は排泄物を適切に処理し、流水と石けんで十分に手洗いをしてください。治った後も比較的長い期間、便と一緒にウイルスが排泄されます。

【急性呼吸器感染症 (5定点)】

疾病名	年齢	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計	定点あたりの報告数(今週)	定点あたりの報告数(前週)
急性呼吸器感染症 (ARI)		21	163	66	33	7	5	19	10	6	4	7	14	355	71.00	79.20

疾病名	年齢	～5か月	～11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計	定点あたりの報告数(今週)	定点あたりの報告数(前週)
インフルエンザ																						0	0	0
COVID-19					2																	2	0.40	0.20

【小児科 (3定点)】

疾病名	年齢	～5か月	～11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	合計	定点あたりの報告数(今週)	定点あたりの報告数(前週)
R Sウイルス感染症																0	0	0
咽頭結膜熱																0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎						1	1		1		1		1			5	1.67	3.33
感染性胃腸炎			1	4	2	5	2	1	3		4	1	4	2	9	38	12.67	8.67
水痘													2			2	0.67	1.00
手足口病				4				1				1		1		7	2.33	1.33
伝染性紅斑																0	0	0
突発性発しん				1												1	0.33	0
ヘルパンギーナ																0	0	0.67
流行性耳下腺炎																0	0	0

眼科 (1定点)

疾病名	年齢	～5か月	～11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計	定点あたりの報告数(今週)	定点あたりの報告数(前週)
急性出血性結膜炎																					0	0	0
流行性角結膜炎																					0	0	1.00

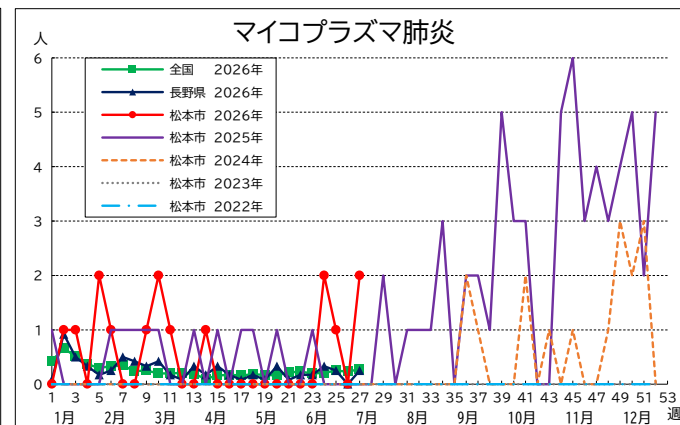
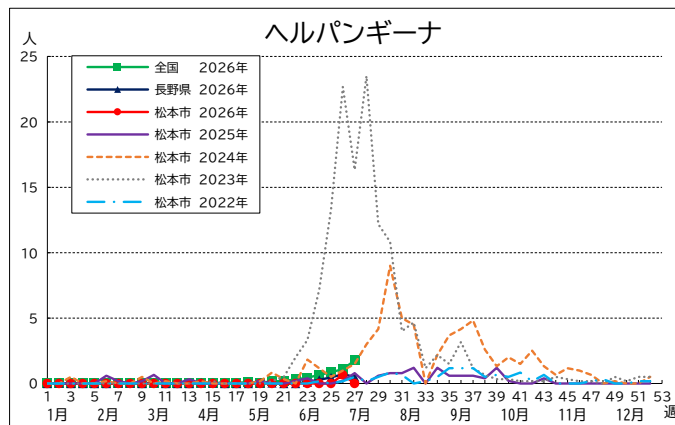
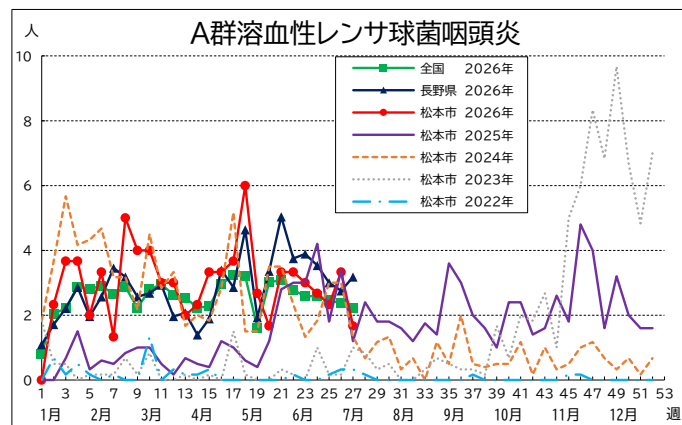
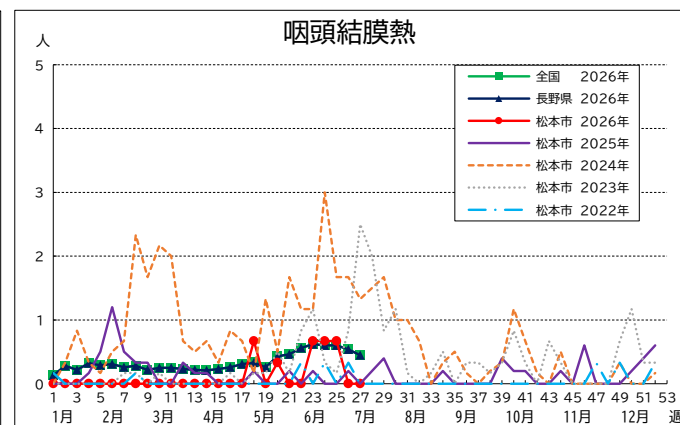
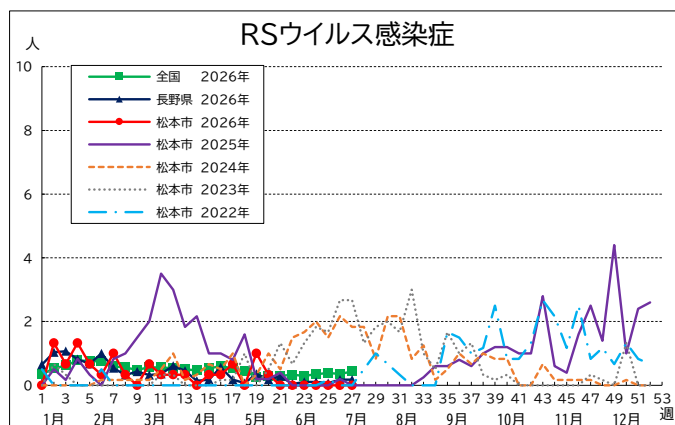
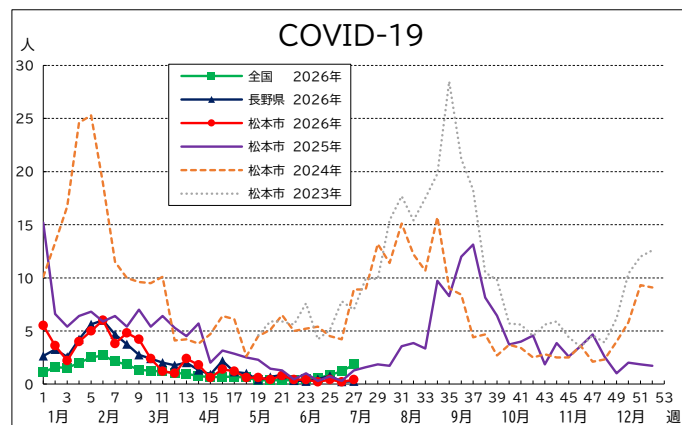
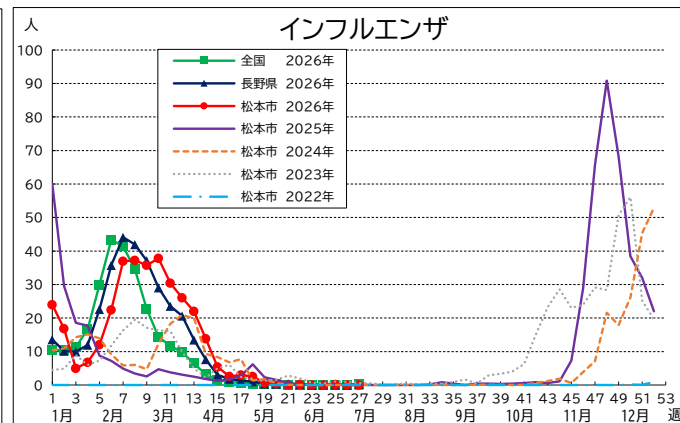
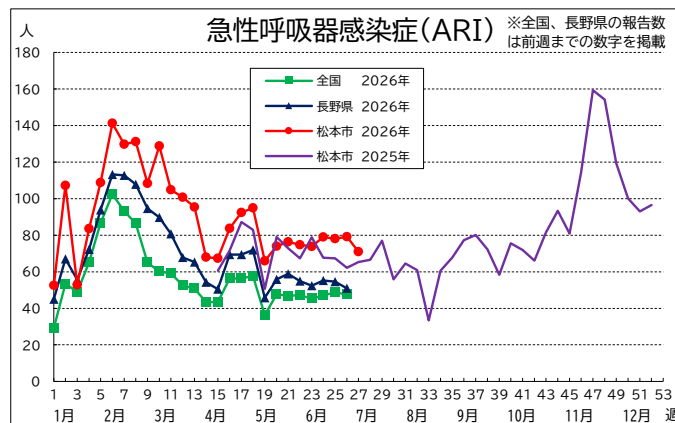
基幹 (1定点)

疾病名	年齢	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	定点あたりの報告数(今週)	定点あたりの報告数(前週)
細菌性髄膜炎																		0	0	0
無菌性髄膜炎																		0	0	0
マイコプラズマ肺炎				1	1													2	2.00	0
クラミジア肺炎																		0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)																		0	0	0

●第28週は7月15日(水)掲載予定です。

定点把握感染症 推移グラフ 【急性呼吸器感染症】

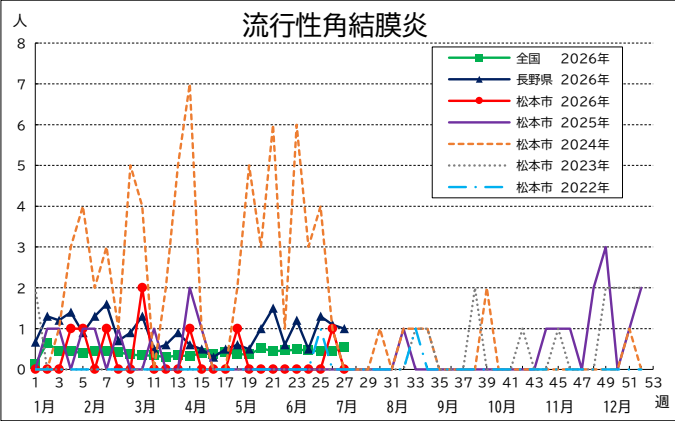
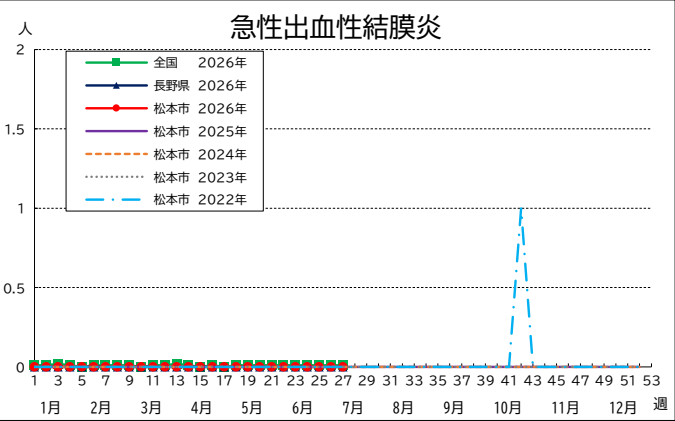
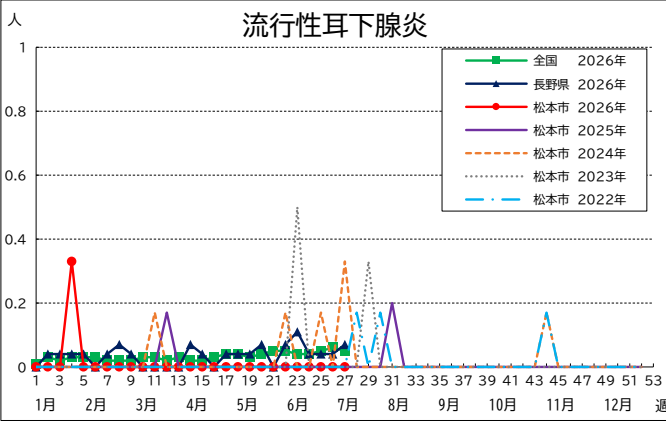
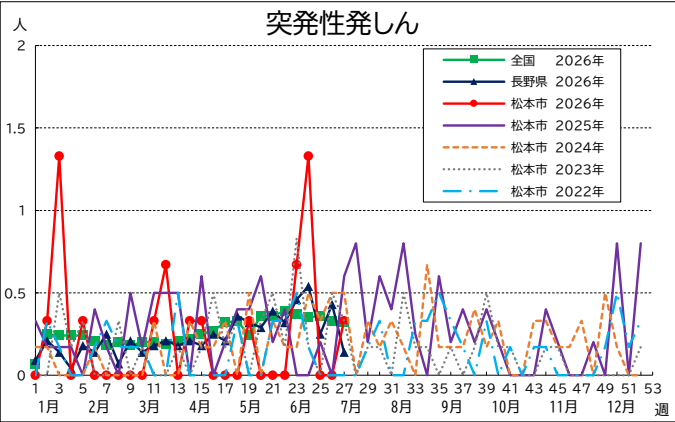
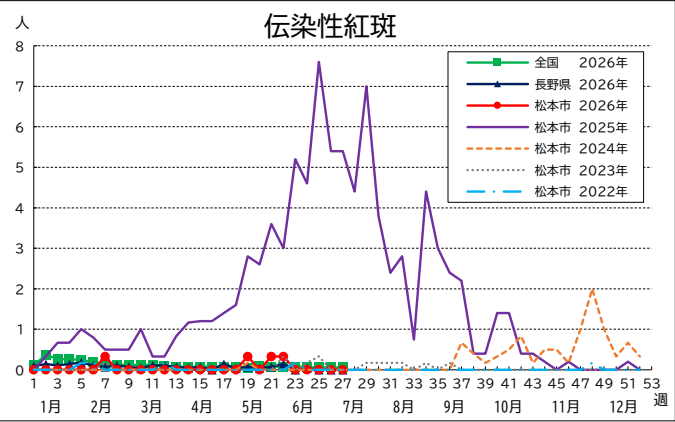
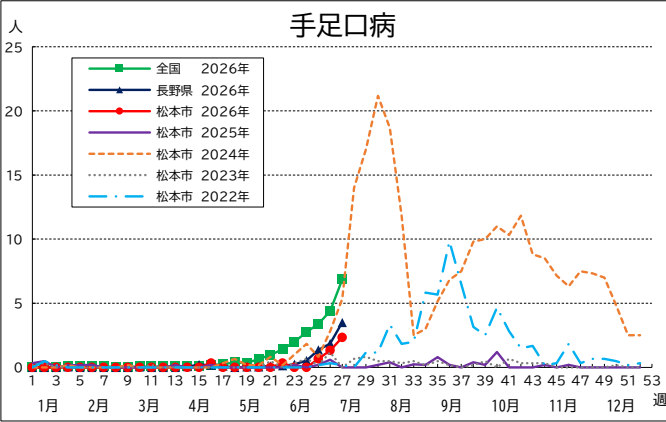
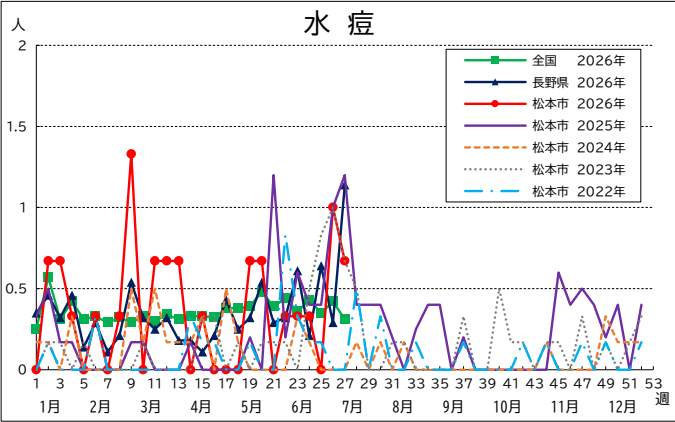
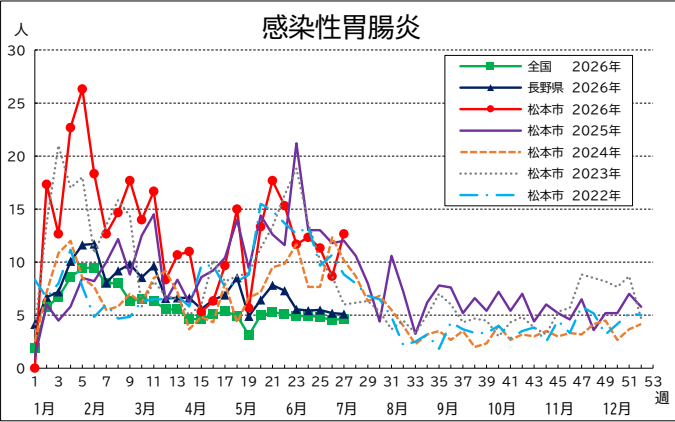
疾患名	3週前	2週前	1週前	今週	前週比
急性呼吸器感染症	79.00	78.00	79.20	71.00	↓
インフルエンザ	0	0.20	0	0	
COVID-19	0.20	0.40	0.20	0.40	↑
RSウイルス感染症	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.67	0.67	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.67	2.33	3.33	1.67	↓
ヘルパンギーナ	0	0	0.67	0	↓
マイコプラズマ肺炎	2.00	1.00	0	2.00	↑



(人数は1定点当たりの報告数)

定点把握感染症 推移グラフ 【急性呼吸器感染症を除く】

疾患名	3週前	2週前	1週前	今週	前週比
感染性胃腸炎	12.33	11.33	8.67	12.67	↑
水痘	0.33	0	1.00	0.67	↓
手足口病	0	0.67	1.33	2.33	↑
伝染性紅斑	0	0	0	0	
突発性発しん	1.33	0	0	0.33	↑
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	1.00	0	↓



(人数は1 定点当たりの報告数)

【全数把握感染症届出状況】（2026年1月～）

	一類（7）							二類（7）							三類（5）					四類（44）			
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マルburg病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群（SARS）	中東呼吸器症候群（MERS）	鳥インフルエンザ（H5N1）	鳥インフルエンザ（H7N9）	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	ウエストナイル熱（脳炎）	A型肝炎	エキノコックス症
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
松本市 累計	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0
松本市2025年（参考）	0	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0

	四類（44）																						
	黄熱	オウム病	オムスク出血熱	回帰熱	キャサナル森林病	Q熱	狂犬病	コクシジオイデス症	エムボックス	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）	腎症候性出血熱	西部ウマ脳炎	ダニ媒介脳炎	炭疽	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	東部ウマ脳炎	鳥インフルエンザ	ニパウイルス感染症	日本紅斑熱	日本脳炎
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市 累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市2025年（参考）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	四類（44）																	五類（24）					
	ハンタウイルス肺症候群	Bウイルス病	鼻疽	ブルセラ症	ベネズエラウマ脳炎	ヘンドラウイルス感染症	発しんチフス	ボツリヌス症	マラリア	野兔病	ライム病	リッサウイルス感染症	リフトバレー熱	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	ロッキーマウンテン紅斑熱	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（A・E型除く）	CRE感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	急性脳炎（日本脳炎等を除く）	クリプトスポリジウム症
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市 累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0
松本市2025年（参考）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	1	0	0	0	1	0

※CRE:カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

	五類（24）																	
	加伊フェルト・ヤブ病	劇症型溶血性レンガ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	VRSA感染症	VRE感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネバクター感染症
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市 累計	0	4	0	0	1	0	4	0	0	4	0	0	0	1	1	0	0	0
松本市2025年（参考）	0	3	3	0	2	2	6	1	0	17	1	1	0	0	156	0	0	0

<松本市ホームページ 感染症情報>

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/230/1552.html>

<長野県ホームページ 長野県感染症情報>

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shippei-kansen/kenko/kenko/kansensho/ioho/index.html>

<厚労省ホームページ 感染症情報>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/index.html

<厚労省ホームページ 急性呼吸器感染症（ARI）>

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/ari.html>

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001433282.pdf> （パンフレット）